施工業者様向け

EV充電スペース 路面表示用ステンシル塗料の施工手順書

nx2.xyz/3
手順書・SDSはこちら

当社のステンシル「EV 200V」「EV QUICK」と、当社で販売している路面表示用の水性塗料・プライマーを使って、EV充電スペースに路面表示を塗る手順です。

株式会社ノエックス ／ 2026年9月30日 第1.4版

1 この手順書で使う商品

商品	内容量	使いみち
路面表示用 水性塗料(小分け品) ホワイト ／ ブルー	2kg(4L缶入り)	ステンシル1箇所を2回塗りする量
アトミクス フロアトップ#1000速乾 ホワイト ／ ブルー	16kg缶	1缶で17～20平米を2回塗り(ステンシル約8箇所分)
アトミクス フロアトップアクアプライマーハエレオ	2.2kgセット (主剤2kg＋硬化剤0.2kg)	古い既設アスファルト・コンクリートの下塗り。約20平米分
路面表示用ステンシル「EV 200V」「EV QUICK」	1枚	型板。持ち帰って水で洗えば、繰り返し使えます

塗料は水性の一液形です。水で薄めて使えます。ローラー・刷毛・カップは使い切りです。

2 お客様でご用意いただくもの

硅砂7号(滑り止め)は、混ぜることを推奨します。塗料には含まれていないので、別にご用意ください。

硅砂は塗膜の滑り止めです。入れないと、雨の日に表示の上で車や人が滑りやすくなると、塗料メーカーから案内を受けています。目安は**塗料の重さの5～10%**です。硅砂なしでも塗ることはできます。

塗料メーカーの公表値は30%(駐車場は50%)です。ただし硅砂を多く入れると塗料の流れ方が大きく変わって塗りにくくなり、ダマは剥がれの原因になります。表示も汚れやすくなります。そのため、この手順書では5～10%を目安にしています。

品目	目安	ひとこと
硅砂7号(推奨)	塗料の重さの5～10% (塗料2kgなら約0.1～0.2kg)	ダマにならないよう、よく混ぜます
ローラー(中毛)・ハンドル・ローラーバケット	1式	面を塗ります

刷毛(幅30mm程度)	1本	文字の角や細い部分に使います
混ぜる容器・撹拌棒	容器は500ml〜1L	紙コップでも構いません。使い切りです。硅砂を入れたときは沈むので、塗る直前に混ぜます
はかり	1台	硅砂を混ぜるときに、塗料と硅砂を量ります
養生テープ・重し	テープ1巻、重し4個	ステンシルの固定に使います(4-3)
清掃道具	ほうき、ブロワー、ウエス、中性洗剤	油汚れは中性洗剤で落とします
カラーコーン・コーンバー	1式	乾くまで車と人を入れないためです
保護メガネ・手袋(ニトリル等)	人数分	長袖・長ズボンで作業してください(7章)
水	少量	塗料を薄めるときに使います
ごみ袋・ビニール袋・ウエス	数枚	使い終えた道具を包んで捨てるのと、外したステンシルを包んで持ち帰るのに使います(5章)

3 下地の見分けとプライマー

下地	プライマー
新設のアスファルト	不要です。清掃してから塗ります
古い既設のアスファルト 色あせ・ひび・表面の荒れがあるもの	ハエレオを塗ります(4-2)
コンクリート	ハエレオを塗ります(4-2)

新設か既設か迷ったら、プライマーを塗ってください。

透水性舗装は仕様が異なります。塗る前に当社へお問い合わせください。

4 施工の流れ

4-1
下地を清掃する

4-2
プライマーを塗る
古い既設・コンクリートのみ

4-3
ステンシルを固定する

4-4
1回目を塗る

4-5
乾かす
23℃で1時間以上

4-6
2回目を塗る

4-7
ステンシルを外す

4-8
乾くまで養生する

4-1　下地を清掃する

1. ほうきとブロワーで、砂・落ち葉・ほこりを取り除きます。
2. 油汚れは中性洗剤で洗い、水で流してから乾かします。
3. 路面が乾いていることを確かめます。濡れた面には塗らないでください。

4-2　プライマーを塗る（古い既設アスファルト・コンクリートのみ）

1. 主剤2kgに硬化剤0.2kgを全量入れて、よく混ぜます（主剤10：硬化剤1）。
2. ローラーで薄く均一に塗ります。塗る量は1平米あたり0.11kgです。
3. 混ぜると固まり始めます。混ぜた後は早めに使い切ってください。使える時間は気温で変わります。
4. 上塗りまで、23℃で2時間以上、5℃で8時間以上あけます。

> **硬化剤の容器に水を入れないでください。**
>
> 硬化剤は水と反応して炭酸ガスを出し、密閉した容器を破裂させることがあります。使い残しを密閉して保管しないでください。

4-3　ステンシルを置いて固定する

1. 表示する位置と向きを決めて、ステンシルを置きます。
2. 四辺を養生テープで路面に貼り、四隅に重しを置きます。
3. ステンシルが浮いていないことを確かめます。浮いていると、塗料が裏に回り込んで文字がにじみます。

4-4　1回目を塗る

1. 塗料を缶の中でよく混ぜます。塗りにくいときは、水で0〜5%薄めます。
2. 滑り止めの硅砂7号を入れる場合は、塗料の重さの5〜10%を入れて、ダマが残らないようよく混ぜます。
3. ローラーで塗ります。文字の角や細い部分は刷毛で塗ります。
4. 塗る量の目安は、1平米あたり塗料0.6kgです。

4-5　乾かす

2回目まで、23℃で1時間以上あけます。気温が低い日や湿度が高い日は乾きが遅くなります。指で軽く触れて、塗料が付かないことを確かめてから2回目を塗ってください。

4-6　2回目を塗る

1. 1回目に硅砂を入れた場合は、2回目も同じ割合で混ぜます。
2. 塗る量の目安は、1平米あたり塗料0.3kgです。
3. 2回塗りは省かないでください。1回だけでは色むらが出て、早く擦り減ります。

4-7　ステンシルを外す

1. 2回目を塗り終えたら、重しと養生テープを外します。
2. ステンシルを真上に持ち上げて外します。横にずらすと表示がこすれます。
3. 外したステンシルは、現場では洗わずに持ち帰ります（5章）。

4-8　乾くまで養生する

塗膜が十分に乾くまで、カラーコーンで囲って車と人を入れないでください。気温が低い日や湿度が高い日は、長めに養生してください。

5 片付けとステンシルの洗い方

施工現場では、道具もステンシルも洗わないでください。

お客様の水場や側溝を塗料で汚さないためです。

- ローラー・刷毛・カップ・容器は使い切りです。塗料が漏れないように袋に入れて、廃棄してください。
- 外したステンシルは、表面の塗料をウエスで拭き取り、ビニール袋などに包んで持ち帰ります。曲げないよう、平らにして運んでください。
- ステンシルは水で洗えます。持ち帰ってから、自社の洗い場で洗ってください。塗料が乾くと落ちにくくなるので、早めに洗ってください。
- 洗った水を側溝・排水溝・川に流さないでください。バケツに受けて、地域のルールに従って処分してください。
- 余った塗料と空き缶は、産業廃棄物として許可業者に処理を頼んでください。

6 塗料の量と保管

- 小分け品2kgで、ステンシル1箇所を2回塗りできます。
- 小分け品は、詰め替えた時点から空気と湿気に触れています。**発送後できるだけ早くお使いください。**
- 16kg缶は、未開封で約1年もちます。開けた後はできるだけ早く使い切ってください。
- 5℃以下や40℃以上になる場所、直射日光の当たる場所に置かないでください。子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 小分け品は当社で詰め替えた商品のため、塗料メーカーの保証の対象外です。お問い合わせは当社で承ります。

7 安全上の注意

- 塗料にはメタノールとアンモニアが少量含まれます。保護メガネ・手袋・長袖・長ズボンを着け、風上から作業してください。
- 眼に入ったら、すぐに流水で15分以上洗い、医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付いたら、布で拭き取ってから石けんと水で洗ってください。シンナーなどの溶剤で落とさないでください。
- 作業中は飲食・喫煙をしないでください。
- プライマー（ハエレオ）は、SDSの注意書きに従って作業してください。主剤は注意喚起語が「危険」です。
- 詳しくはSDS（安全データシート）をご覧ください。SDSは nx2.xyz/3 からご覧いただけます。

8 お問い合わせ

ご購入のお店から

楽天市場・Yahoo!ショッピングでお買い求めの方は、各店舗ページの問い合わせ窓口からご連絡ください。

お電話で

株式会社ノエックス
TEL 029-844-8050
〒300-2635 茨城県つくば市東光台5-9-5 NOEX TSUKUBA BASE B1F

株式会社ノエックス 公式サイト

https://noex-inc.co.jp/

塗る量・乾く時間は塗料メーカーの公表値で、気温・湿度・下地の状態で変わります。硅砂の5〜10%は施工のしやすさを優先した目安で、メーカーの公表値（30%）とは異なります。当社のテスト施工は硅砂なしで行いました。